

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障害児 放課後等デイサービスめろん		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○保護者様との信頼関係が継続して構築できている ・連絡帳を通じた日々の情報共有が定着している ・保護者からの相談・申し入れに個別に対応できている	・連絡帳を通じた日常的な情報共有を継続している ・保護者からの相談には担当者が個別に丁寧に対応している ・支援内容や子どもの様子を毎回の連絡帳に記載して伝えている	・定期面談の実施頻度を高め、より密な連携体制を構築する ・連絡帳のコメントを子ども一人ひとりに合わせた個別の内容にする ・保護者への情報発信の手段を増やし、双方向のやりとりを充実させる
2	○お子さんの支援に全スタッフが積極的にかかわっている ・ケース会議を定期的に実施し全員で支援方針を共有している ・個別支援計画に基づいた支援を全スタッフが意識して行っている	・定期的にケース会議を実施し、情報共有の機会を設けている ・モニタリング・アセスメントを経て個別支援計画へ反映させている ・ケース会議の際に各スタッフから意見収集を行い、計画書へきちんとつなげている	・外部研修や施設訪問(カレッジガーデン等)を通じてスタッフの専門性を向上させる ・支援内容の振り返りを定期的に行い、計画と実際の支援が一致しているか確認する ・新しい支援技術の習得に向けた勉強会を定期的に実施する
3	○毎日飽きないよう、全員が参加できるレクリエーションを積極的に取り入れている ・こどもの興味や体調に合わせた活動を職員全員で考えて実施している ・特定の子どもだけでなく全員が楽しめる内容を意識してプログラムを組んでいる	・毎回の活動内容をスタッフ間で事前に話し合い、全員が参加できる形に工夫している ・季節の行事や感覚遊び・音楽活動など多様なレクを取り入れ、飽きのこない日課を作っている ・こどもの反応を観察しながら活動内容を随時見直し、楽しめる工夫を続けている	・レクリエーションの内容をさらに幅広くし、こどもが毎回新鮮に楽しめるプログラムを充実させる ・外部の専門家や地域資源を活用し、バリエーションのある活動の機会を増やす ・活動記録を蓄積し、こどもごとの反応や好みを次の計画に活かす仕組みを整える

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	常勤看護師の不在により、医療的ケア児への支援体制が不安定な状況にある ・常勤看護師が退職し、後任の確保が困難な状況にある ・急な休業日が発生し、利用者全体に支障が出ている	・常勤看護師が退職し、十分な引継ぎが行われないまま不在となった ・医療的ケア児への対応経験を持つ人材の確保が地域全体で不足しており、採用が難航している ・体制の不安定さにより開所日数が減少し、保護者・利用者への影響が大きくなっている	・常勤看護師の採用を最優先課題として求人活動を強化する ・カレッジガーデン等での研修を実施し、現スタッフの医療的ケアに関する知識・技術を向上させる ・開所体制(月～土)の早期回復に向けて人員確保を進め、保護者へ経過を随時報告する
2	各種マニュアルの整備・保護者への周知が不十分である ・事故防止・感染症・緊急時・防犯対応等のマニュアルが整備されていない ・職員・保護者ともにマニュアルの存在や内容が認識されていない	・マニュアルの作成が業務上後回しになり、整備が遅れてきた ・職員への周知の仕組みがなく、個人の判断に委ねられている部分がある ・保護者への説明の機会が設けられておらず、安全管理への不安を生んでいる	・事故防止・感染症・緊急時・防犯の各マニュアルを早急に整備する ・完成したマニュアルは職員研修で共有し、定期的に内容を見直す体制を整える ・保護者へのマニュアル説明の機会を設け、安全管理への取り組みを周知する
3	情報発信が不定期で保護者への情報共有が十分に行えていない ・SNSや通信の更新が滞っており、継続的な発信体制が確立できていない ・活動内容・行事予定・評価結果等が保護者に届いていない状況がある	・担当者が決まっておらず発信が個人任せになっており、継続性が保てていない ・日常業務の忙しさから情報発信の優先順位が下がってしまっている ・自己評価の結果を保護者に公表する仕組みが整っていない	・月1回以上の定期発信スケジュールを設け、担当者を明確にして継続的に運用する ・活動内容・行事予定・評価結果等を通信またはSNSで定期的に提供する ・自己評価結果の公表方法を整備し、保護者が閲覧できる体制を構築する